

## 第4 今後の対応

今後の対応は、本調査を踏まえて以下の項目について、さらに検討していく必要がある。

### 1. コミュニティバス路線の導入検討

- 区民意向調査を実施し真にニーズのある路線を抽出し、また専門的な意見も取り入れつつ体系的な計画を立案する。
- コミュニティバス導入の際には、環境負荷車両を導入する。

コミュニティバス運行までの概略スケジュールは下表のように考える。

表 4.1 概略スケジュール

	初年度	2年度	3年度	4年度	5年度～
【初年度】 コミュニティバス導入 検討等	■				
【2年度】 コミュニティバス導入 検討等		■			
【3年度】 試行運行調査			■		
【4年度】 本格運行準備				■	
【5年度～】 本格運行					■

### 2. 既存のバス路線の拡充

バス事業者の協力をえて、以下の内容を関係機関に要請し、路線バスの利便性の向上を目指す。

- バス停間隔の短縮（概ね200m間隔）
- バス路線の再編（都市計画道路の整備や街づくりの動向を踏まえ、路線の見直しや拡充）
- バス停の整備（可能なところからバスベイ、上屋、ベンチなどの設置）
- バス運行の円滑化（路線バス優先運行の施策の拡充やバスナビゲーションの導入など）

### 3. 福祉施設送迎バスの活用

福祉施設送迎バスの活用を検討した結果、土日・祝祭日に活用が可能なバスがあることが分かった。

- めぐる区民キャンパスの利便性を向上していくため、曜日限定のシャトル的なバス運行が成立するかどうか、今後検討していく。

### 4. サンクスネイチャー型バスの検討

商業や業務活性化のため民間団体による地区限定の無料バスサービスがある。区内にはサンクスネイチャーバスがあり、大規模な例ではお台場や丸の内がある。サンクスネイチャーを例にとると、約80万円/月（初期投資は含まない）で1コースが成立する。

- 中目黒駅周辺を循環するバスが考えられ、その可能性を探る。